

3 グローバル・スタディーズ学科の教育課程紹介

グローバル・スタディーズ学科は、高度な英語運用能力とGlobal Competence（グローバル社会において、多様な価値観や文化の中で他者と協働し、より良い社会の実現に貢献する力）を身に付けることを目標としています。このため、English Communication 科目群とGlobal Studies 科目群を設けています。

前者では、1年次から4年次まで継続する「English for Global Communication」科目等で卒業時まで徹底した英語運用能力の育成や批判的思考能力の養成を行います。各学年に到達目標を示し、4年次卒業までに730点のTOEIC®の目標スコアを設定します（1年次：550点、2年次：650点、3年次：690点、4年次：730点）。

後者では、グローバル化への対応力の養成のため、異なる背景をもつ人々の考え、文化、歴史、社会に関わる世界の諸問題を英語で考え、議論、発信していく能力を育成する科目を配置しています。このほか、実践的学びの場として、オンライン留学や海外インターンシップ、様々な国際交流活動が用意されています。

3年次からは異文化コミュニケーション、文化人類学、英語教育、言語学、文学・文化、心理学などのゼミ（Junior Seminar）に分かれて専門領域の学びを深め、4年次には各領域の研究室に分かれて、英語で卒業論文を執筆していきます（Senior Seminar）。Junior Seminar及びSenior Seminar（卒業論文の指導）担当者一覧は以下のとおりです。

原 絃子	異文化コミュニケーション
リカード・ジョシュア	文化人類学
西本 陽一	文化人類学
レイヴィン・リチャード	英語教育
武上 富美	英語教育
村尾 治彦	英語学
萱嶋 崇	英語学
吉田 希依	米文学
難波 美和子	比較文学
石井 佳世	心理学

【グローバル・スタディーズ学科の卒業要件単位数、開講科目一覧表及び履修上の注意】

- ① 35頁の「卒業要件単位数」表の専門科目群の部分を詳細に説明したものが37頁の「グローバル・スタディーズ学科カリキュラムの概要」です。履修上の注意を参考によく読んで、単位の取り落としのないように気をつけてください。
- ② 教員免許関係の科目・単位については当該頁を参照してください。

(1) グローバル・スタディーズ学科の進級要件及び卒業論文履修要件

- ア 2年次までに、合計50単位以上修得しなければ3年次に進級できません。
- イ 卒業論文の履修資格は、卒業予定年次の前年度末において共通科目群及び専門科目群から合計80単位以上を修得した者に与えられます。

(2) グローバル・スタディーズ学科の卒業要件

4年以上在学し、次の単位数以上を習得しなければなりません。

	分野	卒業要件単位数				
		必修単位数	選択必修単位数	選択単位数		
共通科目群 a	基盤科目	英語以外の外国語	b	—	6	※その他の単位 (左の他に2単位を修得)
		bとc以外の科目 (Basic English以外の英語科目)	c	—	—	
		健康スポーツ科学	d	2	1	
		情報処理とデータサイエンス	e	6	—	
		キャリアデザイン	f	2	—	
		地域理解と リーダーシップ	もやいすと(地域)ジュニア育成 もやいすと(防災)ジュニア育成	g	—	
	新熊本学		h	—	2	
	gとh以外の科目		i	—	—	
	教養科目	人間と文化	j	—	2	
		自然と環境	k	—	2	
社会と世界		l	—	2		
小計(A)			10	17	2	
			29			
専門科目群 ①	人文基礎	②		4	左の他 9単位を修得	
	主要科目	③	49			
	学部共通科目	④		8		
	演習	⑤		8		
	特殊研究	⑥		4		
	卒業論文	⑦	6			
	小計(B)			55	24	9
			88			
自由選択単位ア	共通科目(Aを超える単位)				8	
	専門科目(Bを超える単位)					
	他学部・他学科の専門科目					
小計(C)						
小計(C)			8			
合計(A)+(B)+(C)			125			

『共通科目群』

- 必修科目10単位、指定された選択必修科目17単位、それ以外に共通科目群の選択科目より2単位(その他の単位:共通科目群aの※部分)の合計29単位以上を修得すること。
- 英語以外の外国語は、ドイツ語、フランス語、中国語及び韓国語(それぞれ入門AⅠ、入門AⅡ、入門B、基礎、発展Ⅰ、発展Ⅱ)から1言語6単位以上を選択必修。文学部の学生は1年次前期で「入門B」を、後期で「基礎」を履修すること。
- 選択英語科目を修得した場合はその他の選択単位(2単位中)もしくは自由選択単位ア(8単位中)のイに含む。
- 「健康の科学」は必修とし、「生涯スポーツ実習Ⅰ」「生涯スポーツ実習Ⅱ」から1科目1単位を選択必修とする。
- 「情報処理入門」「データサイエンス入門」「データサイエンス演習」は必修とする。
- 「プレゼминаール」「キャリア形成論」は必修とする。
- 「もやいすと(地域)ジュニア育成」「もやいすと(防災)ジュニア育成」から1科目2単位を選択必修とする。
- 新熊本学は4科目8単位から1科目2単位を選択必修とする。
- 地域理解とリーダーシップのgとh以外の科目を修得した場合はその他の選択単位(2単位中)もしくは自由選択単位ア(8単位中)のイに含むことができる。
- j, k, l 各分野からそれぞれ1科目2単位以上を選択必修とする。

『**専門科目群**』①は、②人文基礎中の4単位、③主要科目中の必修科目49単位、④学部共通科目中の8単位、⑤3年次に開講のJunior Seminar（演習科目）中、I・II各4単位、計8単位、⑥4年次に開講のSenior Seminar（特殊研究）中、I・II各2単位、計4単位並びに⑦卒業論文6単位を含む、合計88単位以上を修得すること。なお、②～⑦を合わせると79単位であり、専門科目群の必要単位数88単位には不足する。この足りない9単位は、専門科目群のいずれからでも選択できる。

『**自由選択単位**』アは、共通科目群の必要単位数29単位と専門科目群の必要単位数88単位を合わせても117単位であり、卒業に必要な単位数の125単位に不足する。この足りない8単位を、自由選択単位として、イ、ウ、エいずれからでも選択できるようにするものである。

イ 共通科目群の必要単位数31単位を超えて修得した単位数。

ウ 専門科目群の必要単位数86単位を超えて修得した単位数。

エ 所属学科の専門科目群に含まれていない他学部・他学科の専門科目の単位。（履修方法等は38頁の「他学部・他学科開講科目の履修について」を参照。）

- ・ Studying Abroadは、該当する留学プログラム（オンラインを含む）について、授業時間数や内容を考慮して単位として認める科目です。原則として協定校（英語圏あるいは英語を使用する海外の大学）とSAF（Studying Abroad Foundation）の提供するプログラムとなります。Studying Abroadとして認定できる単位は最大4単位で、専門科目群①の選択単位数9単位のうちに含めることができます。
- ・ Seminar科目（1～4年次）は再履修が困難なものもあります。確実に合格できるように万全を期しましょう。
- ・ Junior Seminarは、各学期4単位を超えて履修することも可能です（受け入れ人数をオーバーしていない場合）。その場合は、学部共通科目として卒業要件単位に含めることができますが、事前に教務委員に相談してください。
- ・ 「卒業論文」という科目を卒業年次に履修登録する必要があります。この科目は多くの科目と異なり「通年科目」であり、特に履修登録時に注意が必要です。
- ・ 「もやいすとグローバル育成プログラム」は、グローバルな視点を持ち、地域課題に柔軟に対応できる学生を育成するためのプログラムです。グローバル・スタディーズ学科では、学科での学びをより深めるために、プログラムへの参加を強く推奨しています。プログラムに参加するためには、TOEIC®550点以上のスコアが必要です。専門科目だけでなく、選択英語科目も履修し、2年次以降のプログラムに備えてください。